

<b>B110</b> <b>中級</b> (オンライン聴講あり)	<h1>中国の特許調査</h1> <p>中国特許データベースの活用方法（最新特許情報の入手法） 商用データベースの問題点と解決法</p>
講師	西尾 潤（アジア特許情報研究会・株式会社ユポ・コーポレーション 開発研究所）
日程・場所	東京本会場 → オンライン配信（受講者端末） 8月23日（水）、2024年1月30日（火）
時間	1日間（10:00～16:00）// 昼休憩 11:45～12:45
アクセス	<a href="https://www.jpds.co.jp/company/access.html">https://www.jpds.co.jp/company/access.html</a>
定員	東京会場：24名 オンライン30名（先着順申し込み）
受講料	本会場：20,000円（税込22,000円）、オンライン：16,000円（税込17,600円）
対象	特許調査担当の中級者 ※中国語の知識は不要。
<b>内容</b>	
<p>中国特許を調査する場合、通常、商用英語データベース（DB）を用いて、英語翻訳された特許文献を検索しますが、これだけでは検索漏れが発生します。漏れを減らすには、中国語での検索も併用する必要があります。しかし、出願人の表記ゆれやキーワードの同義語・類義語が多数あるなど、中国語での検索は難しい印象があります。</p> <p>本講座では、中国語データベースを併用して、中国語が理解できない方でもデータベースから中国語の技術用語を漏れなく抽出する方法や、中国語の特許明細書を日本語で査読する方法について、中国特許調査の経験豊富な講師が分かり易く解説します。</p>	
<b>プログラム</b>	
1. 中国特許情報の概要と特徴 ・ 統計情報、早期公開 ・ 公報番号、ステータス情報 ・ 中国語検索が必要な理由	4. 中国特許文献の査読 ・ 日本語翻訳が蓄積されているDBの利用 ・ J-Plat Pat の利用 ・ 機械翻訳の利用（翻訳精度の確認） ・ Chat GPT を用いた簡易翻訳
2. 中国特許DBの紹介 ・ CNIPR、中国商用DB、各特許庁無料DB ・ 各種DB比較	5. 中国特許情報検索の応用 ・ 審査情報の取得 ・ 年金納付状況の取得
3. 中国特許検索の実際 ・ 基本検索式の構築 ・ 出願人、キーワードなどの取得方法 ・ 日本語を用いた検索式の作成 ・ 英語/中国語を併用した検索母集団の作成	

## 【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。

本会場： URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

オンライン： URL: [https://www.jpds.co.jp/online\\_seminar/application.html](https://www.jpds.co.jp/online_seminar/application.html)

## 【備考】

- ・ 中国語に関する知識がなくても問題ありません。
- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

## 【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。ただし、オンライン聴講の場合は継続研修の認定対象外となります。